

(津山市ホームページより)

# 高齢化率32%

図表11-5-2-1 人口の推移

(単位：人)

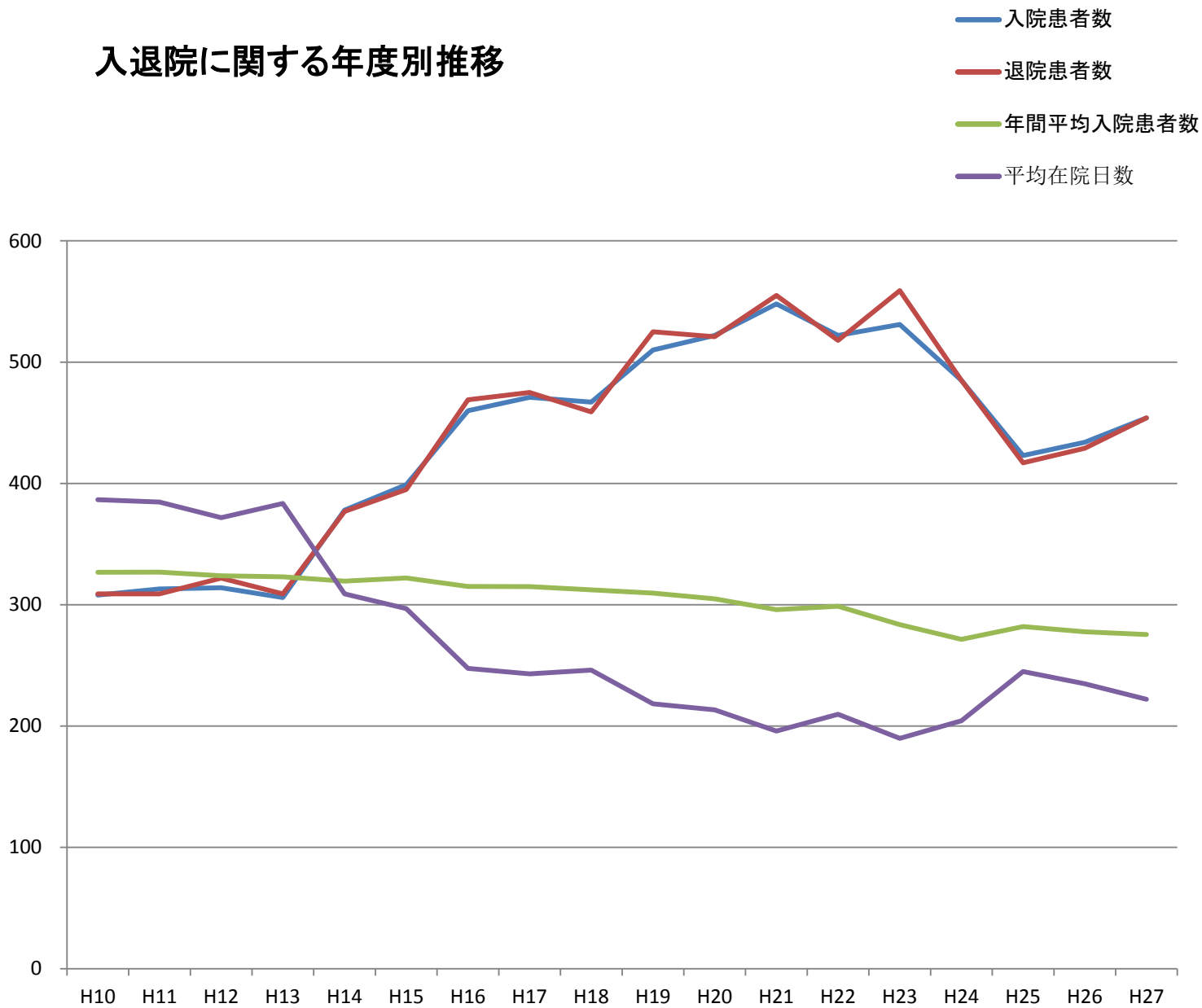
年	圏 域	津山地域	勝英地域
平成2年	212,460	154,463	57,997
7	210,809	153,868	56,941
12	204,793	150,267	54,526
17	198,796	146,895	51,901
22	190,604	141,306	49,298
23	189,016	140,252	48,764
24	186,900	138,857	48,043
25	184,997	137,433	47,564
26	183,189	136,189	47,000

(資料：国勢調査 平成23年～26年は岡山県毎月流動人口調査)

(注) 津山地域は旧勝北町を含む、以下同様。

- 平成29年2月の津山の人口は102,896人

## 入退院に関する年度別推移



# 関連施設

## 精神科関連施設

精神科デイナイトケア	
訪問看護ステーション「レモン」	
地域活動支援センター「ネクスト津山」「虹」	
通所授産施設「遊楽荘」	
就労移行支援A型「宙」	
救護施設	「ニュー三楽園」 (90床)
入所授産施設	「三楽園」 (30床)
共同生活援助	「サンコート」 (44床)
	計 164床

## 高齢者関連施設

認知症疾患センター	
居宅介護支援施設「すみれ」	
訪問介護施設「オリーブ」	
特別養護老人ホーム「ESサウスヒルズ」	(55床)
	「パインスクエア」 (49床)
	「ミカサ」 (60床)
ケアハウス	「オークパーク」 (50床)
	「ローズガーデン」 (30床)
軽費老人ホーム	「ESガーデン」 (50床)
養護老人ホーム	「ときわ園」 (100床)
	計 394床

164+394=558 床

他の医療機関・他の診療科等（全国：平成23年）

5万人/年\* 13%

精神病床

1.8万人/年\*\* 36%

入院期間が1年を超過

40万人/年

入院期間1年未満の患者  
約10.5万人 35%

5万人/年  
13%

入院期間1年以上の患者  
約19.7万人 65%

29万人/年\* 73%

1万人/年\* 3%

死亡

1万人/年\*\* 20%

1.7万人/年\*\* 34%

自宅、グループホーム等

他の医療機関・他の診療科等（平成25年度）

35人/年\* 8%

精神病床

13人/年\*\* 31%

入院期間が1年を超過

423人/年

入院期間1年未満の患者  
約91人 33%

42人/年  
10%

入院期間1年以上の患者  
約185人 67%

319人/年\* 75%

26人/年\* 6%

20人/年\*\* 48%

4人/年\*\* 1%

死亡

自宅、グループホーム等

他の医療機関・他の診療科等（平成26年度）

35人/年\* 8%

精神病床

12人/年\*\* 32%

入院期間が1年を超過

434人/年

入院期間1年未満の患者  
約105人 37%

38人/年  
9%

入院期間1年以上の患者  
約176人 62%

332人/年\* 76%

24人/年\* 6%

死亡

15人/年\*\* 40%

11人/年\*\* 29%

自宅、グループホーム等

他の医療機関・他の診療科等（平成27年度）

42人/年\* 9%

12人/年\*\* 32%

精神病床

入院期間が1年を超過

454人/年

入院期間1年未満の患者  
約109人 39%

38人/年  
9%

入院期間1年以上の患者  
約172人 61%

357人/年\* 79%

22人/年\* 5%

13人/年\*\* 34%

8人/年\*\* 21%

死亡

自宅、グループホーム等



他の医療機関・他の診療所等(平成28年  
度:2116/4/1~1017/3/21)

36人/年\* 8%

精神病床

15人/年\*\* 32%

入院期間が1年を超過

455人/年

入院期間1年未満の患者  
約109人 39%

38人/年  
9%

入院期間1年以上の患者  
約172人 61%

324人/年\* 0%

43人/年\* 9%

30人/年\*\* 34%

6人/年\*\* 21%

死亡

自宅、グループホーム等

# 病床利用率(平成28年度)

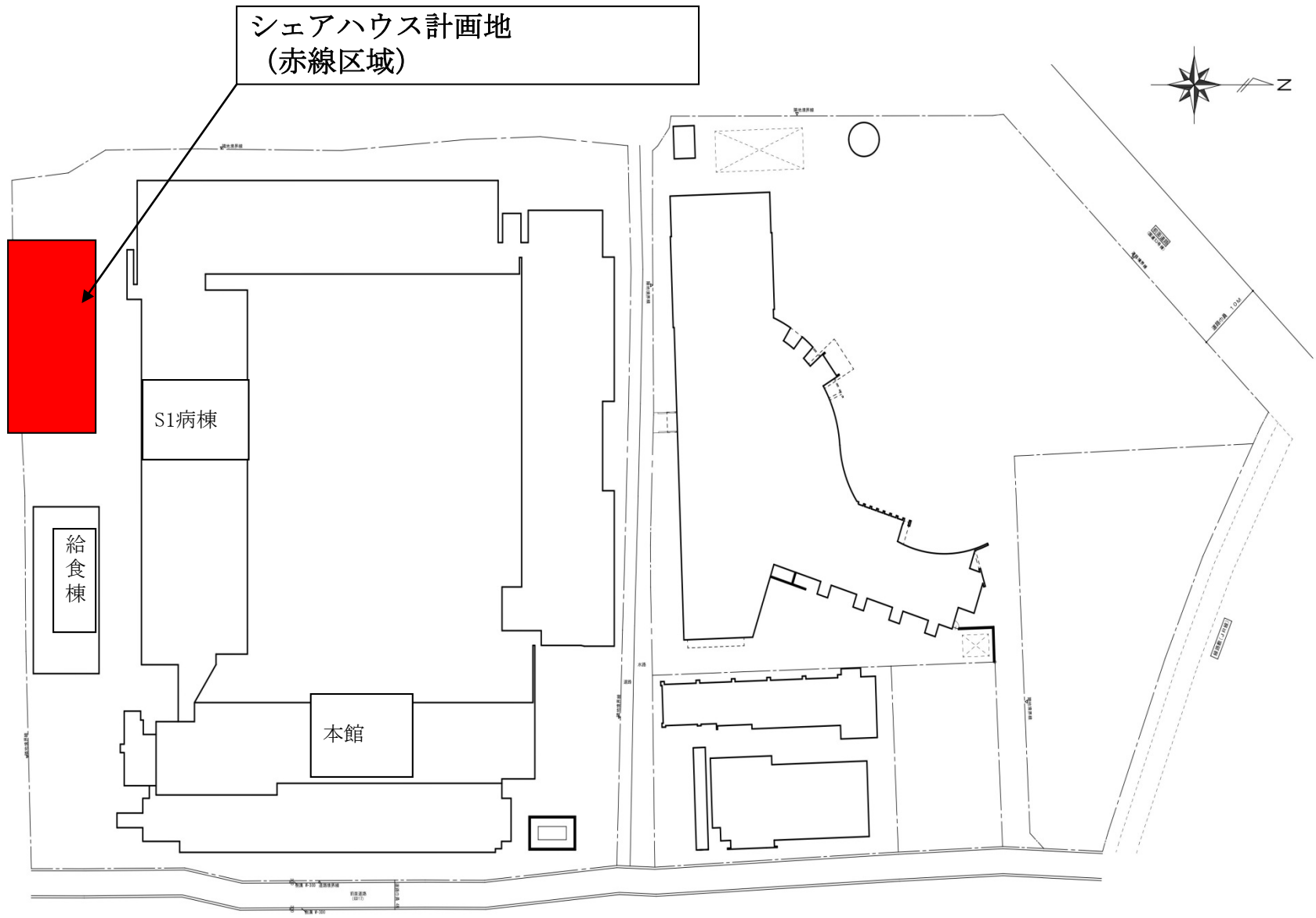
		病床数	病床利用率
S-1病棟	精神療養病棟	48床	86.1%
S-2病棟(A)	精神一般病棟	20床	95.0%
S-2病棟(B)	精神一般病棟	38床	81.1%
1病棟	精神療養病棟	53床	95.1%
2病棟	精神一般病棟	51床	91.4%
3病棟	精神科急性期治療病棟	48床	86.9%
4病棟	精神療養病棟	48床	94.8%
合計		306床	89.9%

## 平成28年度入退院

		合計	
S-1病棟	入院	11	
	退院	21	-10
S-2病棟 (A)	入院	100	
	退院	92	8
S-2病棟 (B)	入院	33	
	退院	44	-11
1病棟	入院	7	
	退院	12	-5
2病棟	入院	64	
	退院	94	-30
3病棟	入院	222	
	退院	173	49
4病棟	入院	32	
	退院	34	-2
合計	入院	469	
	退院	470	-1

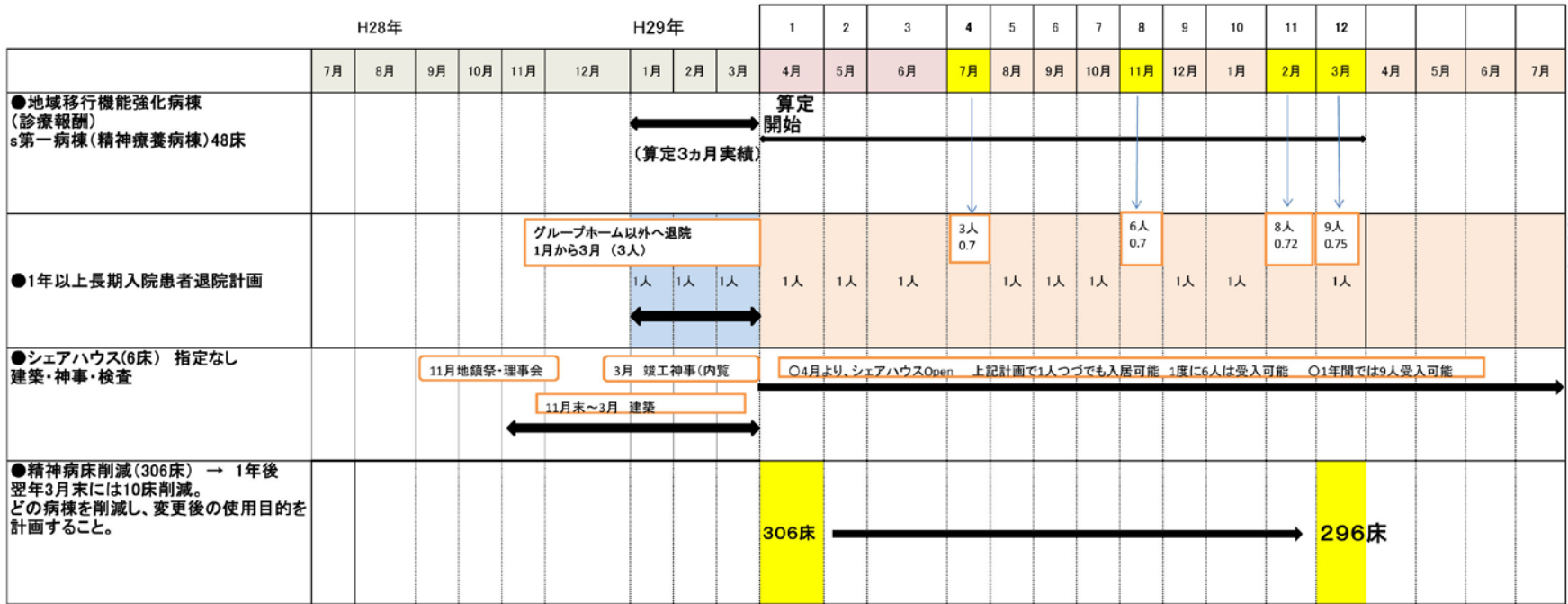
## 平成28年度入転出

		合計	
S-1病棟	転入	28	
	転出	14	14
S-2病棟 (A)	転入	41	
	転出	46	-5
S-2病棟 (B)	転入	54	
	転出	49	5
1病棟	転入	26	
	転出	26	0
2病棟	転入	50	
	転出	21	29
3病棟	転入	34	
	転出	83	-49
4病棟	転入	31	
	転出	25	6
合計	転入	118	
	転出	118	0



配置図 1:250

# 施設整備(シェアハウス)タイムスケジュール



算定開始後 各月  
平均0.72人以上で  
1.5%以上  
クリア

退院予定者一覧(1月から翌年3月まで)

算定開始4月(306床)

3月中に10床削減

シェアハウス以外(特養・介護・救護・患者)へ退院予定		シェアハウス 入居予定		シェアハウス		シェアハウス	
1月	( )病棟 ( )	4月	( )病棟 ( )	8月	( )病棟 ( )	12月	( )病棟 ( )
2月	( )病棟 ( )	5月	( )病棟 ( )	9月	( )病棟 ( )	1月	( )病棟 ( )
3月	( )病棟 ( )	6月	( )病棟 ( )	10月	( )病棟 ( )	3月	( )病棟 ( )

(48床 × 1/5 × 1年 = 9.6人)

# 退院支援委員会

退院支援相談員は、担当する患者について退院に向けた支援を推進する委員会を、当該患者1人につき月一度以上開催。

出席者

- 当該患者主治医
- 看護職員
- 退院支援相談員
- 当該患者
- 当該患者の家族
- 指定特定相談事業者、指定一般相談事業者、居宅介護支援事業者、シェアハウスのサービス管理責任者等の退院後の生活環境に関する者。

## 地域の機関との連携、地域資源、受け皿整備

当該病棟の入院患者の地域生活への移行支援を進めるにあたっては、保健所、市町村の障害福祉担当部署、相談支援事業所と連携を有することが求められている。良質かつ適切な精神障害者に対する医療の提供及び障害福祉の充実といった精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にむけても極めて重要なことであり、地域の機関への連携を積極的に求めたい。

# 地域移行支援事業への申請

- 当該患者に対して、地域移行支援事業を行うために、外部の相談支援専門員に入ってもらい進めて行った。
- なお地域定着支援事業については適応にならなかった。



# 地域移行とは

急性期の入院の後、症状が軽快して退院する患者さんは言わない。

長期の入院生活の為に生活の基盤が病棟の中にねずいている患者さんを、生活の基盤が地域に移すと共に、多くの院外の医療サービス、障害福祉サービス、ピアサポーター等を利用して、本人が「不便もあるけど、地域に出て本当に良かった。」と、感じることに。

		年齢	性別	病名	入院期間	退院先
1	K.A	66歳	男	知的障害	(2年7ヶ月)	養護老人ホーム
2	N.E	68歳	女	統合失調症	(3年)	特養
3	S.K	66歳	男	統合失調症	(5年)	養護老人ホーム
4	Y.H	61歳	男	統合失調症	(16年2ヶ月)	シェアハウス
5	N.T	58歳	男	統合失調症	(18年)	シェアハウス
6	I.S	55歳	男	統合失調症	(12年10ヶ月)	シェアハウス
7	T.Y	83歳	男	統合失調症	(17年)	自宅
8	M.Y	65歳	男	統合失調症	(22年3ヶ月)	シェアハウス



